

ハートフルウォーキングおのを歩こう！ ひまわり鑑賞コース

コース 神鉄小野駅～大池総合公園～ひまわりの丘公園～広渡廃寺跡歴史公園～神鉄小野駅(約10km・一般向)

歩行時間 約2時間30分

夏を代表する花と言えばひまわりでしょう。今回の遊歩倶楽部はひまわりを求めて、小野市にあるひまわりの丘公園を目指して歩きました。

神鉄小野駅東側の駅前広場を左へ、2つ目の

信号を渡り小野商店街を歩きます。どこか懐かしさの残る商店街を抜けると正面には大池、左手には小野市役所や伝統産業会館が見えます。コンビニ前の信号を右折、右手に大池を見ながら歩きます。しばらく行くと右手に大池総合公園があり、少し先にモダンな建物のうるおい交流館エクラがあります。

大池公園北の信号を渡り、のどかな田園風景の中を歩いて行くと約15分で国道175号に合流し、信号を渡り直進するとすぐ右手に浄谷町公民館、公民館前の農道を北へ約10分行くとひまわりの丘公園に到着します。

ひまわりの丘公園は国道175号に隣接し、約80,000平方メートルの広さを誇る多目的公園です。春は菜の花、夏はひまわり、秋にはコスモスなどの季節の花々が咲き乱れます。2002年に大規模整備が行われ、大型遊戯施設や西洋風庭園、飲食施設、商業施設などがあり、市民の憩いの場となっています。公園のシンボルともなっている「ひまわりの塔」①は高さ20m、重さ約260トンの御影石の塔です。夜間はライトアップされます。

園内でのんびりと休憩の後、広渡廃寺跡歴史公園を目指して再出発。再び田園風景の中を歩いていると左手前方に小野アルプスの山並みが見えます。約20分ほどで広渡廃寺跡歴史公園②に到着します。ここは7世紀後半頃に建てられた古代寺院跡で、奈良の薬師寺と同じ伽藍(がらん)配置です。基壇(きだん)と呼ばれる建物の基礎



や日本で唯一セラミックスを用いた1/20の精巧な伽藍模型があり、ガイダンスホールには寺の復元図や出土遺物などを展示しています。(入園無料)

見学の後、出発地点の神鉄小野駅へ戻ります。公園の南西から住宅街へ出て、西に進むと県道18号線に合流。県道18号線の歩道を直進すると

再び大池。小野商店街に入り来た道を戻ります。ほとんど日陰のない舗装路のコースなので暑さ対策をしっかりして歩いてください。